

第3回恵庭市市民活動支援制度審査会 結果報告

1. 審査日時 2022年10月27日(木) 10時~11時

2. 場 所 市民活動センター 2階 会議室8

3. 審査員

委員長	市民活動コーディネーター	水野 みどり	欠席
副委員長	企画振興部次長	高橋 英志	出席
委員	総務部財務室長	山口 勝	出席
委員	教育部次長	大嶋 克幸	出席
委員	NPO法人恵庭市市民活動センター運営協議会理事	高橋 正彰	欠席
委員	市民活動コーディネーター	浅野 小百合	欠席
委員	市民活動コーディネーター	中嶋 あゆみ	出席
委員	市民活動コーディネーター	和田 光雄	出席
委員	市民活動コーディネーター	石山 香織	出席
委員	市民活動コーディネーター	小隅 麻美	※事務局

※欠席委員は事前に書類審査を行った

4. 申請団体及び審査結果

① 恵庭に暮らす外国人と地域をつなぐ会・ENIWAの魅力をつたえ隊 (協働担当課:企画課)

事業名	日本語スピーチ発表会
事業概要	恵庭に暮らす外国人は年々増えているが、地域との繋がりが薄く困りごとを相談する場もなく、日本文化に接する機会もない、隣近所とも接点がないという人もいる。同じ恵庭市民としてその垣根を少しでも低くする取り組みを行う。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ 年々増加傾向にある市内在住外国人の中には、仕事や生活の中で不便を感じている方も多いいると思われる。参加者とのその後の繋がりが重要と考える。スピーチのテーマや体験事業の内容によって参加者も見込めるのではないかと考えるので、多様な時間帯に働く対象者がより参加しやすく、今後に続く事業となることを期待する
採択	

② NPO法人えにわ市民プラザ・イル (協働担当課:社会教育課)

事業名	残された戦後、記者が見た硫黄島 - 恵庭の記者だった僕が、激戦地硫黄島に渡ったわけ -
事業概要	激戦地硫黄島に残された状況についての取材に執念を燃やす記者魂の報告会を開催。硫黄島で戦闘が終わって70数年経っても世界のどこかで戦争が起きている。戦争の悲惨さを知り、人間が起こす争いをセーブするすべてを学び、次世代に「争いのない世界」を継承する。
審査結果	＜委員からの総評～事業に対する意見・評価・アドバイス等＞ 今回恵庭に関する方が当事者なので、生の体験を広く特に若い世代の方々に聞いて頂くことを実施することに意味があると考える。当日のオンラインの活用や、北海道新聞社も巻き込み多くの方に知ってもらえるようPRに努めてほしい。この事業を通じ協力者や理解者を増やし、時代に即したテーマ選定を検討し、今後も継続されることを期待する。
採択	